

「学び」は人生の栄養

# 令和6年度社会教育訪問学級 受講生募集！！

## 「社会教育訪問学級」とは

身体に障害があり、1人で外出することが困難な方を対象としています。  
みなさんの「学びたい！」という学習意欲に応えられるよう、区が紹介する講師が受講生の自宅を訪問し、マンツーマンで学びの場をご提供します。

### 科目例

美術 英会話 ギター 華道

その他多数！

まずはお問い合わせください！

受講生作品▶



7月の地蔵公園

申込  
期間

3月4日(月)～4月15日(月)必着

定員

7名※審査あり

参加  
料金

無料※実費は受講生負担

中野区役所 区民部 文化振興・多文化共生推進課 文化振興・多文化共生推進係

TEL:3228-8863

FAX:3228-5456 / Mail:bunka-tabunka@city.tokyo-nakano.lg.jp



詳細は内面へ！

## ■ 対 象

受講者の対象要件は、次の3つすべてに該当することが必要です。

- (1) 中野区在住で18歳以上の方。
- (2) 身体に障害があり、一人で外出することが困難な方。
- (3) 学習の機会をとおして、社会参加への意欲のある方。

※他に同様の学習機会を有する方は、対象になりません。

## ■ 定 員

7人 (継続の方優先)

※継続の場合でも、年度ごとに申請が必要です。

## ■ 学習科目

希望する科目を各自、1科目選びます (ご希望に添えない場合がありますので、必ず第2希望までお出してください)。

講師は、区が紹介いたします (受講生による講師の指定はできません)。

これまでの学習科目には、次のようなものがあります。

英会話、ドイツ語、絵手紙、水彩画、パステル画、書道、ピアノ、声楽、大正琴、謡、折り紙、編み物、洋裁、華道、美術、パソコン、木彫刻など。

## ■ 学習方法・内容

- (1) 受講回数 年間18回以内
- (2) 学習時間 月2回、1回2時間程度
- (3) 学習内容 学習の進め方や方法、日時等は受講生と講師が話し合い決めます。
- (4) 受講料 無料

※ただし、教材費等は自己負担となります。

## ■ 学習期間

6月から翌年の2月まで。

※年に1回 (3月頃を予定)、日頃の学習成果を発表する場として、受講生や講師が一堂に集う「交流発表会」を開催しています。

## ■ 申込方法

(1) 提出書類

申請書 1部

(2) 募集期間

令和6年3月4日(月)～4月15日(月)必着

(3) 提出方法

郵送、または区役所6階文化振興・多文化共生推進課まで直接お持ちください。

(4) 審査結果

申請書の内容を審査し、その結果に基づいて5月中に申請者あてに結果を郵送いたします。

学習の開始は、通知が届いてから(6月以降)となります。

※学習を継続する場合でも、毎年申請書を提出していただき、審査のうえ受講を決定します。

(5) 問合せ・提出先

〒164-8501 中野区中野4-8-1

中野区 文化振興・多文化共生推進課

文化振興・多文化共生推進係

TEL: 03-3228-8863 (直通)

FAX: 03-3228-5456

Mail: bunka-tabunka@city.tokyo-nakano.lg.jp

お申込み、お問合せお待ちしております！  
裏面には受講生の声を載せているので、  
ぜひ見てください！！



中野区生涯学習キャラクター

「まなビーバー」



## ～受講生の声～

### ■Cさん 受講科目：文章の書き方（令和4年度修了）

令和4年度をもって社会教育訪問学級を修了しましたが、現在も同じ講師から個人的に文章の書き方を習っています。最近は自身の頭の中をスラスラ言語化できることが増えてきました。また、様々な情報を吸収するため本を読むことや、外出することが増え、感性が豊かになるとともに文章力の成長にも繋がっていると思います。もともと日常の些細な出来事を身近な人へ伝えたくて文章を習い始めましたが、現在は新聞への投書を目指し、充実した日々を過ごしています。

### ■Tさん 受講科目：美術 ※ご家族によるコメント

授業を重ねる度に、作品の深みが増していて、いつもニコニコ、楽しく活動ができています。

また、講師に教わった画家さんの画集を図書館に借りに行ったり、美術館に行ったり、授業以外にも活動の幅を広げることができました。



### ■Aさん 受講科目：英会話 ※ご家族によるコメント

自分の興味がある事を英語で会話する事、また、英語の基本を学び直す事ができました。

### ■Hさん 受講科目：華道 ※ご家族によるコメント

今まで経験したことのない華道に挑戦できました。

講師が毎回丁寧に教えてくれ、本人も嬉しそうでした。

障害が重い人でもこのような機会をつくっていただき、感謝しています。

お花を中心に会話もはずみ、本人の生きがいや日々の楽しみが増えました。

引き続き、継続したいと思っています。



※プライバシー保護のため、お名前はイニシャルにて掲載しております。

